

(2) 指導計画 (略)

(3) 実践の概要

① 要旨のとらえ方を再確認させたり、これまでの要旨まとめの学習でのつまずきの傾向を振り返らせたりして、本時の学習に生かしていくことができるようにならせて。

このようにして既習事項との関連を図ったことにより、生徒が課題解決の方針性を見い出し、文脈の流れに注意しながら要旨をまとめていく姿が見受けられた。

〈抽出生徒C女の要旨のまとめ方の変容〉

(検証授業・前)

中心段落ごとの要点をつなげただけの要旨

ト	レーニングの適量
考	原理の中法れ、細胞ニン成
え	元やでをば、筋肉五成
て	て条件トエアツの結果を
ほ	件レ天目アツの上
し	の1し目的の理件を上げる
い	生二てに条件が持続筋肉
か	ン生じ応件あり寸筋肉
し	ゲ生じ応件あり寸筋肉
方	の活じゆせ肉

(検証授業・後)

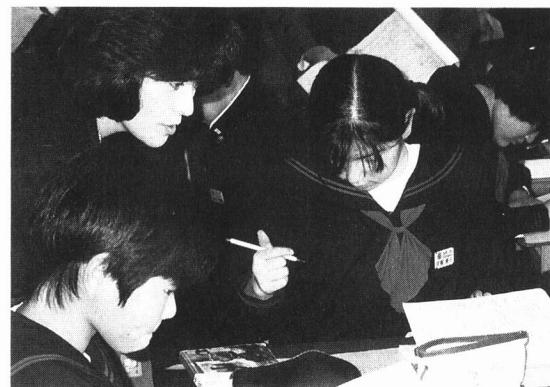
補足的な説明が加わり文脈が通った要旨

シンドラク時計	年番	氏名
理山イててこどした結果からある。た	1	1
的てムり正山く定はだを二が王宮探ぐる。た	2	2
意い・く定はだを二が王宮探ぐる。た	3	3
味たイ社時、生のわの置こはとど分デ点ラ	4	4
を時ズ会法人たみ縫問か、とど分デ点ラ	5	5
持代一かか工の出かしはた。た	6	6
つでスルらのかしはた。た	7	7
ニ仙ネ調定期とた仙カ討可能時とが機械にがる。中	8	8
とサ」べ時計いう代の時計が時と鳴る。中	9	9
がの言葉重黒変及ヒ社会の歴史を知る。中	10	10
かの言葉重黒変及ヒ社会の歴史を知る。中	11	11
た。倫視タタキす。同	12	12

② 一人学習やグループ学習での時間をできるだけ多く確保することにより、生徒が主

体的に学習活動を進めていくことができるよう配慮した。また、チーム・ティーチングにより一人一人の生徒のつまずきの傾向を把握(座席表の活用)し、個別に対応した。

その結果、個々の生徒のつまずきについての具体的な援助が可能になり、生徒の問題解決力も育ち、授業の基盤となる生徒指導の機能を生かした学習活動が展開されるようになった。

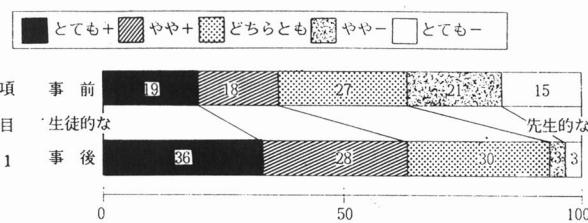


〈抽出生徒D男のT-Tの感想〉

先生に聞く回数が多かったので、計画が早く進んだと思う。それから、いろいろなやり方を教えてもらったので良かった。先生が二人いるとわからないことをすぐ聞くことができてすこぶるよくなかった。

IV 説明的文章の読解の学習における生徒の変容調査(SD法)の結果から

A 授業の雰囲気についてのイメージの変容



項目1から、生徒自らが学習計画を立てることにより、自分が中心になって学習を進めいくのだという学習の主体者としての自覚が高まり、積極的に学習に取り組んでいく姿勢をうかがうことができる。